

令和7年度 第1回 みんなで支える森林づくり松本地域会議

議 事 錄 (要 約 版)

【開催日】 令和7年9月17日（水） 9:00～12:00

【開催場所】 現地視察（松本市内）、松本合同庁舎5階502号会議室

【現地視察】 1 松本地域木工業者 (有)柳沢木工所 松本市庄内2-2-9
2 民間施設の木造・木質化 (株)アスピア 松本市宮渕1-3-30

【会議事項】 1 県産材利用推進の取り組みについて
2 令和6・7年度森林税活用事業の実施状況について
3 その他

【出席構成員】 (50音順)

牛山 奈々	構成員
佐藤 喜男	構成員（座長）
武井 均	構成員
平島 安人	構成員
藤牧 靖次	構成員
柳澤 由香利	構成員
構成員2名欠席	
太田 美絵	構成員
平林 千代	構成員

【事務局出席者】

斎藤松本地域振興局長、丸山林務課長、池上企画幹兼普及係長、岡田課長補佐兼林産係長、森山林務係長、清水担当係長、千葉主事

【現地視察】

- 地元木工業者（柳沢木工所）および民間施設（アスピア社）を訪問し、県産材の活用事例を確認。木質化された空間の魅力や、地域資源の活用可能性について意見交換が行われた。

【会議事項 要約】

- 1 県産材利用推進の取り組みについて
 - 木造・木質化支援事業の補助上限額が従来の500万円から最大3,000万円に拡充されたこと等、県産材利用促進のための施策について説明があった。
 - 保育園での制度活用が難しくなったとの懸念に対し、新技術を用いたものについて補助上限が引き上げられたものであり、引き続き補助制度は活用可能との説明があった。
 - アスピア社の木質化空間が高く評価され、より多くの人が利用できる仕組みづくりの必要性が指摘された。
- 2 令和6・7年度森林税活用事業の実施状況について
 - 「再造林の加速化」と「里山整備」の取り組みに関し、実績が目標値を下回っている点について、制度の周知不足や個人所有地の集積に困難を伴ったことが原因と説明。
 - 主伐・再造林の推進を重要施策として位置付けている理由の一つとして、若い森林を育成することによるCO₂吸収促進と、森林資源の林齢構成のバランス改善が紹介された。
 - 森林税事業を活用する方法が分かりづらいとの指摘があり、申請手続きの簡素化や情報発信の強化が求められた。

- ◆ 市町村に対してライフライン保全対策の要望が非常に多く寄せられている現状とともに、人口や森林面積の点において、松本地域への予算配分が少ないのでないかといった、地域の実情に合った制度設計や予算配分の見直しを求める意見が出された。

3 その他

- ◆ 地域会議で出された意見が県民会議にどう反映されているかのフィードバックが不足しているとの指摘を受け、次回会議では今回の意見がどのように反映されたかの報告を行う。
- ◆ 全体として林業就業者数の増加は見られるが、実態としては深刻な労働力不足が続いていること、人材確保・人材育成の面で更なる支援が必要との意見。

(Copilot による要約を元に作成)



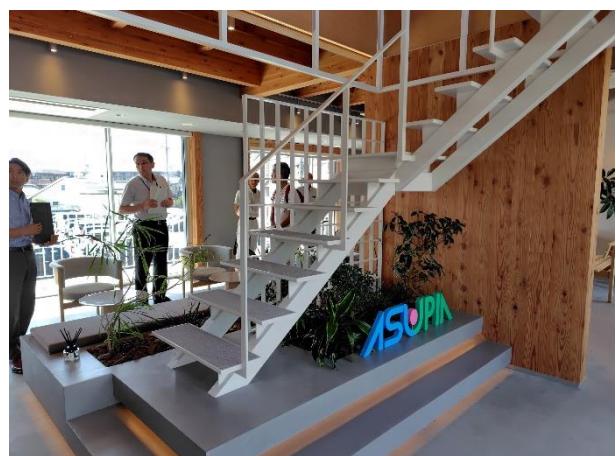
(有)柳沢木工所 観察の様子



(有)柳沢木工所 観察の様子



(株)アスピア 観察の様子



(株)アスピア 観察の様子



意見交換の様子